

地域を「まもる」

建設業応援ポスター

群馬建協が第2弾公表

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は、地域建設業応援宣言ポスターの第2弾を公表した。写真。地域の守り手である地域建設業の存在を「まもる」

のキャッチコピーで周知する。初弾と同様約2000枚を作成し、国土交通省、群馬県や幼稚園、小中学校、高校などに配付する。業界の存在・役割を多くの県民、若者たちに知ってもらうことが狙い。



。群馬県に縁のある柔道五輪金メダリストの角田夏実選手を起用したポスターは第3弾まで予定しており、5月には「育てる」をテーマした作品を公表する予定だ。

群建協

テーマは「まもる」

応援宣言ポスター第2弾

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は25日、キャッチコピーに「まもる」を掲げた地域の建設業応援宣言ポスターの第2弾をリリースした。3月31日に発



角田さんを起用した

んを起用。柔道の強さと国土強靱化を掛け合わせたポスターとなっている。

第3弾は「育てる」をキャッチコピーとしたポスターを製作し、5月22日の定時総会で発表する予定。

ポスターには群馬県が掲げる「災害レジリエンスNo.1」や「移住人気度No.1」の文言も盛り込んでいる。

ポスターは広く一般の人たち、特に若い人が建設業に目を向けてもらえるような分かりやすい広報戦略を意識し製作。地

域の人脈を活用し、地域に縁のある人をモデルに起用した手作り感覚で広報戦略を展開することをポイントにポスター製作を行った。